

# 3次元表示とグーグルアースの連動

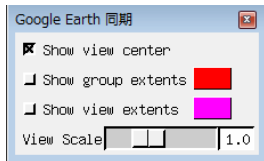
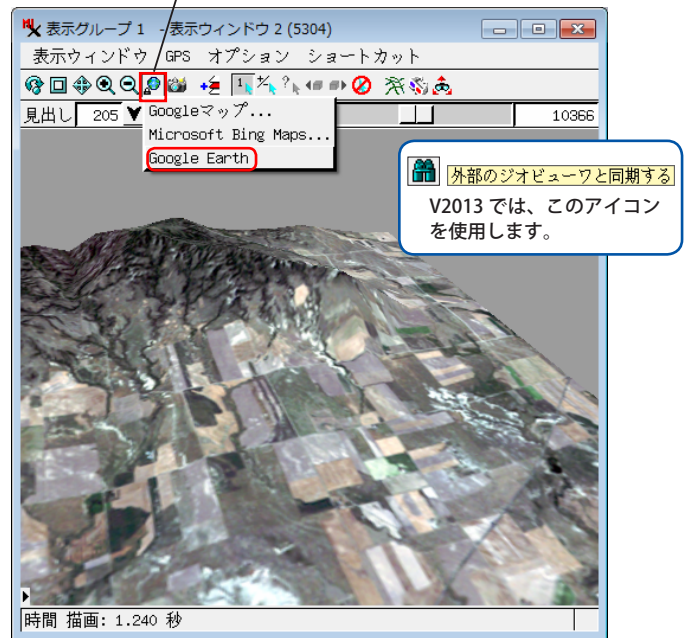


TNTの表示や編集プロセスの表示ウィンドウから[外部のジオビューワと同期する (Synchronize External Geoviewer)]のアイコンを使って、表示画面とグーグルアースを連動させることができます。

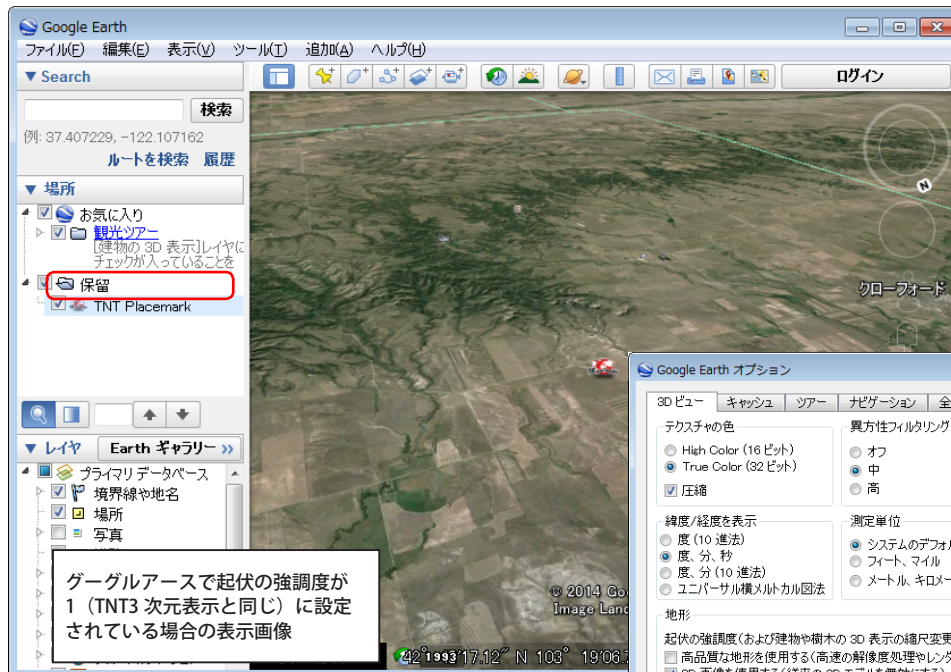
このアイコンをクリックして[Google Earth]を選択すると、グーグルアースが自動的に開き、保留フォルダの中の“TNT Placemark”として TNTで現在3次元表示している場所が表示されます。このとき、方向(方角)、伏角(傾き)、見ている人の位置なども同じように表示されますが、垂直方向(起伏)の強調度はグーグルアースの設定から変わらないため、TNT製品での強調度とは異なる場合があります。

- 2次元表示ウィンドウでこのアイコンを使用したときと同じように、“TNT Placemark”がグーグルアースの保留フォルダのリストの中に表示されます。テクニカルガイドの“System : Zoom Google Earth to Match View” (システム : 2次元表示とグーグルアースの連動)を参照してください。
- 画像や図形要素に関する情報はグーグルアースに送られません。画像や重ねるデータをグーグルアースに送るには、レンダリングやKMLファイルへエクスポートしたり、スナップショットをKMLファイルとして保存します。
- グーグルアースの基本画像が前回付け加えたレイヤーとともに表示されます。
- すでにグーグルアースが起動している場合、画面はTNTの3次元表示と連動して動き、ズームされます。

[外部のジオビューワと同期する]アイコン



〈Google Earth 同期〉ウィンドウで、グーグルアースに対する連動表示の設定を行います。TNTmipsの表示画面の中心にあたる位置にマイクロイメージ社のロゴを表示したり、グループや表示の範囲を示す枠を希望の色で描いたり、表示スケールを設定します。



〈3次元表示〉ウィンドウの[外部のジオビューワと同期する]アイコンをクリックして[Google Earth]を選択すると、TNTmips(上)で表示しているカラーの起伏陰影図ラスタの3次元表示が、グーグルアース(左)での表示の位置や方角、傾きなどに連動します。起伏の強調度を変えるには、グーグルアースの[ツール] > [オプション]を選択します。(下)

グーグルアースで起伏の強調度が1 (TNT3次元表示と同じ) に設定されている場合の表示画像

